※10.5 ポイントで記載してください。また、青字を削除した上で申請してください。レイアウト(ページ設定)は変更しないでください。

※様式１(担当者を除く)～様式３－１は JST が公募を実施する先端研究基盤刷新事業(EPOCH)の内容と同じ内容を記載してください。

【様式１】公募申請書

※連携大学がある場合は､連携大学名及び代表者名を記載してください｡連携大学がない場合は､削除ください。参画機関の記載は不要です。

令和　　年　　月　　日

文部科学省科学技術・学術政策局長　殿

（提案大学名）
（代表者名）

（連携大学名）
（代表者名）

先端研究基盤刷新事業(EPOCH)における施設整備に関する提案について

先端研究基盤刷新事業(EPOCH)における施設整備に関する提案として、様式２～４を提出します。

【提案大学の責任者及び担当者】
部 署 名：
氏　　名：
電話番号：

【様式２】申請体制について

※連携機関がある場合は、連携大学、参画機関、それぞれの記入欄を適宜追加の上、記載してください。

※提案大学及び連携大学は、学長を責任者として記載してください。

参画機関においては、提案大学と連携して活動を行うことについて責任を有する者(担当役員等)を記載してください。審査にあたり、文部科学省より連絡を取らせていただくことがあります。

<table>
<tr><td colspan="2" rowspan="4">提案大学</td><td colspan="2">提案大学名</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">所在地</td><td>〒</td></tr>
<tr><td rowspan="2">責任者</td><td>所属・役職</td><td></td></tr>
<tr><td>氏名</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="8">連携機関</td><td rowspan="4">連携大学</td><td colspan="2">連携大学名</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">所在地</td><td>〒</td></tr>
<tr><td rowspan="2">責任者</td><td>所属・役職</td><td></td></tr>
<tr><td>氏名</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">参画機関</td><td colspan="2">参画機関名</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">所在地</td><td>〒</td></tr>
<tr><td rowspan="2">責任者</td><td>所属・役職</td><td></td></tr>
<tr><td>氏名</td><td></td></tr>
</table>

※提案大学、連携機関(連携大学・参画機関)の定義は、以下とします。

(ア) 提案大学(本事業に申請する大学)：コアファシリティ化(組織的な研究設備の導入・更新・活用の仕組み)が進む国公私立大学(国際卓越研究大学を除く。)

(イ) 連携機関

① 連携大学：提案大学との組織的な連携を図りながら、本事業の経費を活用の上、研究基盤の刷新を図る国公私立大学(国際卓越研究大学を除く。) 及び大学共同利用機関。

② 参画機関：原則、本事業の経費の配分対象とはしないが、提案大学と連携して活動を行う、研究基盤の刷新に有効な大学等(例：国際卓越研究大学、海外大学、国立研究開発法人、高等専門学校、公設試験研究機関、民間企業等を含む。)

【様式３―１】「研究基盤の刷新に向けた戦略の骨子」について

１．研究基盤の刷新に向けたビジョン

※　大学のミッション等に基づき、研究基盤の刷新に向けたビジョンに加え、そこに至るための一定程度具体化されたプロセスを、事業開始後３年程度で取り組むこと、それ以降に取り組むことに分けて記載してください。

※　可能な範囲で数値的な目標を設定してください。

※　連携大学がある場合は、提案大学との組織的な連携を行う意義や役割も記載ください。

２．コアファシリティ化(組織的な研究設備の導入・更新・活用の仕組み)の実績

※　「研究設備・機器の共用推進に向けたガイドライン」等も参照しつつ、コアファシリティ化が進む研究大学等としての実績(共用対象設備数、利用件数、利用料収入等)を記載ください。なお、申請要件に係る以下の項目は、必ず記載してください。

・組織全体としての共用の推進を行う組織(「統括部局」)の確立
・「戦略的設備整備・運用計画」に基づく持続的な設備整備・運用
・共用化を促進させる研究者や部局へのインセンティブの設計
・競争的研究費の使途の変容促進(設備の重複確認等)
・コアファシリティ・ネットワーク形成の主導と成果の検証　等

※　「研究設備・機器の共用推進に向けたガイドライン」に基づく「戦略的設備整備・運用計画」を作成している場合は、添付ください。

※　連携大学がある場合は、連携大学の実績も記載ください。

■実績：

・組織全体としての共用の推進を行う組織(「統括部局」)の確立　等

■共用化の定義：

＜共用化設備の割合と利用状況について＞

機器の取得価格額	全学の設備数	共用化対象設備数	共用化対象設備数の割合
500 万円以上 1,000 万円未満			
1,000 万円以上 5,000 万円未満			
5,000 万円以上 1 億円未満			
1 億円以上			

	学内	学外 （大学等公的機関）	学外 （民間企業等）
共用設備の利用件数（令和６年度）			
共用設備の利用料収入（令和６年度）（千円）			

※　各大学の共用化の定義に基づき算出してください。
※　算出が難しい場合は、適宜、項目の変更や不記載でも構いません。
※　表形式に加え、適宜、グラフ等を活用して作成してください。

＜共用化を支える体制について＞

	研究者	技術者等	研究開発 マネジメント 人材（URA 等）	事務 職員	その他	合計
共用化を支える体制（人）						

※共用研究設備・機器の検索システムなどを構築している場合は、その URL を記入ください。

（関連 WEB 概要 1）	URL

３．先導的な研究環境の実現に向けた取組

※　「研究の創造性・効率性の最大化のための先端研究基盤の刷新に向けた今後の方針」等も参照しつつ、①先端的な装置の開発・導入、②人が集まる魅力的な場の形成、③持続的な仕組みの構築等、研究の創造性と協働を促進し、新たな時代（Epoch）を切り拓く先導的な研究環境の実現に資する具体的な取組を、現状の課題を踏まえ、事業開始後 3 年程度で取り組むこと、それ以降に取り組むことに分けて記載ください。
※　記載の末尾に、下表の形式により、構想・計画のアウトプット・アウトカムを測定する指標を設定してください。
※　連携機関がある場合は、提案大学と連携して行う具体的な活動も記載ください。
※　実施項目に応じて番号を追加してください。

＜記入項目＞

①　実施項目「　　　　」
①―１．当初３年での実施事項・目標（現状の課題を含む）
①―２．それ以降の実施事項・目標

②　実施項目「　　　　」
②―１．当初３年での実施事項・目標（現状の課題を含む）
②―２．それ以降の実施事項・目標

＜指標＞

アウトプット指標	目標値（目標年）	申請時点	指標設定の考え方

アウトカム指標	目標値（目標年）	申請時点	指標設定の考え方

※　複数の指標を設定する場合、適宜、行を追加してください。

※　アウトプット指標はアウトカム指標と関連するものとし、指標設定の考え方にその関連がわかるよう記載してください。

※　申請時点の数値を記載できない場合は、「−」としてください。

※本事業により整備する施設の一覧、施設の規模(階数・延床面積等)・機能・経費等がわかるよう、指定するエクセル様式を用い、別添１として添付してください。
※強調したいポイントには下線を引くなど、見やすさに工夫して記載してください。

【様式３―２】「整備する施設の内容」について

※全体を５ページ以内で記載してください。各項目における行数は、記載量に応じ適宜変更してください。
※当該様式では、提案大学の整備する施設の内容について記載してください。連携大学(大学共同利用機関を除く)において、施設整備を行う場合は、適宜、【様式３－３】等として追加してください。また、提案大学に整備しない理由とともにその意義を記載ください。

１．整備する施設の概要

（１）整備する施設の内容

①整備する施設の全体像

※整備する施設の概要を記載の上、提案大学の研究基盤の刷新に向けた戦略の実現に向けた施設整備の必要性、規模(階数・延床面積等)・機能・経費、成果の見込みの内容をパワーポイント１枚で作成し、別添２として、添付してください。
※施設の図面(構想中の略図でも可)を別添３として添付してください。増築・改築・改修の場合は、整備前後の比較ができる図面としてください。
※別添２及び別添３の記載にあたって、本事業以外の資金を活用する場合には、本事業の対象部分との区別が明確に分かるようにしてください。

②建設等の予定地等

・建設等予定地・他の関連施設との位置関係、所有者と現況

※建設等を予定している土地(大学・キャンパス等の立地)を記載し、他の関連施設や最寄りの交通機関等との位置関係がわかるような縮尺が明示された図を別添４として添付してください。その上で、土地の所有者名及び所有者からの土地の提供形態を記載し、当該予定地全体を示す現況図や写真を別添５として添付してください。

・建設等予定地の法的制限等

※施設の建設・運用等にあたって、特に考慮すべき関連法令等がある場合に記載してください。

③整備工程表

※簡単な工程表を記載してください。
※事業実施期間は、令和９年３月 31 日までです。
※他の補助金を活用する場合には、本事業との区別が分かるように記載してください。

④施設の整備内容の規模・整備計画、立地する場所の妥当性

※施設の整備内容の規模・整備計画、立地する場所が研究基盤の刷新に向けた戦略の実現に向けて効果的・効率的であることが明らかとなるよう記載してください。

※新増築の場合、本事業により整備する施設が、既存施設の有効活用等で対応ができず真にやむを得ないものであることが明らかとなるよう記載してください。

2．研究基盤の刷新に向けた戦略の実現に向けた施設整備の必要性・成果の見込み

（１）研究基盤の刷新に向けた戦略の実現に向けた施設整備の必要性

※施設の整備内容が、研究基盤の刷新に向けて必要であることを、提案大学の現状や実績を踏まえた上で具体的に記載してください。

（２）施設整備の成果の見込み

※研究基盤の刷新に当たって期待される寄与や波及効果（若手を含めた全国の研究者が挑戦できる魅力的な研究環境の実現への貢献等）をどのように想定しているのか、定性的・定量的に記載してください。

3．施設の維持・管理体制

（１）運用・管理体制

※どのように運用・管理していくのか（運用・管理する学内体制（学内における位置づけ・人数規模等）、入居や利用のルールの制定、利用計画、運用機会を増やすための取組・工夫等）を記載してください。

※施設の維持管理に係る資金計画を下表（稼働開始から 10 年間程度）に記載してください。

施設の維持管理に係る資金計画　（千円）

	令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
自己資金					
利用者負担					
その他収入※					
計					
年間運営・維持費用見込み					

	令和 13 年度	令和 14 年度	令和 15 年度	令和 16 年度	令和 17 年度
自己資金					
利用者負担					
その他収入※					
計					
年間運営・維持費用見込み					

※「その他収入」の具体的内容（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（２）施設の年間運営費用の内訳見込み

※施設の年間ランニングコスト総額見込みと、簡単な内訳を記載してください。

・年間　　　百万円

（内訳）

（３）利用者からの年間収入の内訳見込み等

※施設の利用料総額見込み（想定している平均的な稼働率の時）と、簡単な内訳を記載してください。

※その他、施設の維持・管理にあたって施設の利用料だけでは不十分な場合には、大学全体でどのように維持・管理を実施していく予定か記載ください（基盤的経費など、他の資金の活用を含む）。

・年間　　　百万円　※稼働率が　　％である場合

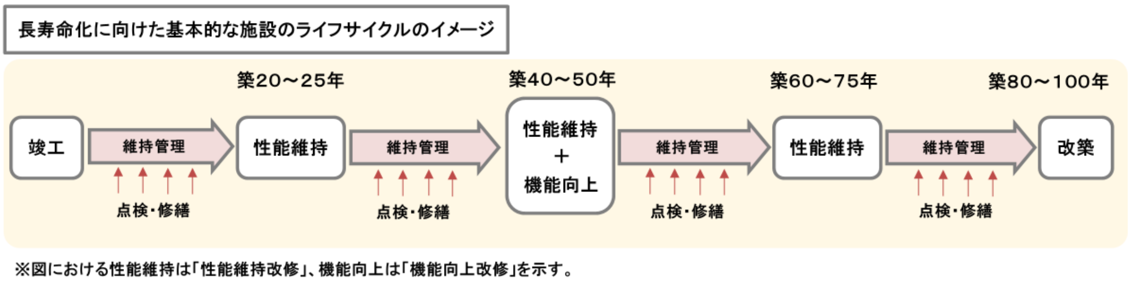
（内訳）

（４）長期的な施設マネジメントの見通し（新増築の場合）

※以下のライフサイクルイメージを参考に、当該施設における、将来にわたる維持管理や性能維持改修、大規模改修等の長期的な施設マネジメントの見通しを記載ください。

【参考】長寿命化に向けた基本的な施設のライフサイクルのイメージ

（第６次国立大学法人等施設整備５か年計画（R8～12 年度）策定に向けた最終報告より抜粋）



【様式４】その他確認事項

（１）提案大学及び連携機関の担当連絡先について

※連携機関がある場合は、連携大学、参画機関、それぞれの記入欄を適宜追加の上、記載してください。

※本事業に申請を行う提案大学やその連携機関については、確認を行う場合がありますので、連絡先を記入してください。

<table>
<tr><td colspan="2" rowspan="5">提案大学</td><td colspan="2">提案大学名</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">所在地</td><td>〒</td></tr>
<tr><td rowspan="3">担当者</td><td>所属・氏名</td><td></td></tr>
<tr><td>電話番号</td><td></td></tr>
<tr><td>メールアドレス</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="10">連携機関</td><td rowspan="5">連携大学</td><td colspan="2">連携大学名</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">所在地</td><td>〒</td></tr>
<tr><td rowspan="3">担当者</td><td>所属・氏名</td><td></td></tr>
<tr><td>電話番号</td><td></td></tr>
<tr><td>メールアドレス</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="5">参画機関</td><td colspan="2">参画機関名</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">所在地</td><td>〒</td></tr>
<tr><td rowspan="3">担当者</td><td>所属・氏名</td><td></td></tr>
<tr><td>電話番号</td><td></td></tr>
<tr><td>メールアドレス</td><td></td></tr>
</table>

（２）本事業への申請（予定）状況について

提案大学となる大学が別の大学の申請において連携機関となることは可能としています。その一方、複数の申請に関わる大学には、当該大学に対し、各申請内容の妥当性や実現可能性、全申請を通じた当該大学の研究基盤の刷新に関する効果を確認することとしています。本申請の提案大学が、他の申請の連携機関となる場合には、申請体制等とともに、他の申請における連携機関としての役割・連携内容及び自大学に対する先端研究環境刷新効果を以下へ記載してください。

※連携機関となる数により、適宜行を追加してください。

<table>
<tr><th>他の申請における
提案大学</th><th>他の申請における
連携機関</th><th>申請額
（自大学分）</th></tr>
<tr><td>□□大学</td><td>☑連携大学（●●大学）
□参画機関（△△大学、△△研究所）
※自大学が連携機関として申請している提案については、自大学以外の連携大学・参画機関も含め記載してください。連携大学・参画機関の別について自大学が該当するほうに✓を記入してください。</td><td>本事業への申請額：
百万円</td></tr>
<tr><td colspan="3">連携機関としての意義や役割、活動内容</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="3">自大学に対する研究基盤の刷新に対する効果</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>合計</td><td>連携大学として〇件申請
参画機関として〇件申請</td><td>提案大学・
連携大学としての
申請額：〇〇百万円</td></tr>
</table>

（３）当初予定していた資金に満たない場合における事業実施の対応について

本事業では、全体予算額を勘案しつつ、提案に応じた適正な規模を交付決定することとしております。そのため、本事業に採択となった場合においても、補助決定額が申請額に満たない場合があります。この場合において、本事業において申請する施設整備を実施する予定か、いずれかに✓をつけてください。

当初予定していた資金に満たない場合における事業実施の対応
□整備する （自己資金等を充当し当初の計画どおり整備又は不足する資金相当額分を減じて整備）
□ 整備しない

【別添１-1】

本事業により整備する施設全体の規模・機能・経費等

提案大学	
連携大学	
参画機関	

整備する施設数	

＜整備する施設の一覧＞

	施設名	立地	整備を行う大学	施設内容・機能等	研究基盤刷新に対する効果	整備方法	施設全体の規模
1	××××コアファシリティ棟	〇〇大学△△キャンパス	〇〇大学	１階を学内外に開かれたコアファシリティとして、一般利用に加え、機器のショールームなどに活用し、２階を人の出入りやデータ持ち出し等が管理されたセキュアな環境を整備し、機器メーカーを含む民間企業との共同研究などに活用		新増築・改築・改修の別・新築以外の場合、当初の竣工年度、直近の増改築・改修年度を記載	地上〇階建て 整備予定面積〇m^2
2	××××コアファシリティ棟						

【留意事項】(提出時には表中の記載例とともに削除してください。)
※必要に応じて行を追加してください。
※立地については、「〇〇大学△△キャンパス」「△△駅前」等と記載してください。
※研究基盤の刷新に向けた戦略の実現にあたって、各施設内容・機能等が必要であることがわかるように簡潔に記載してください。
※施設全体の規模については、１棟ごと整備・購入する場合は「地上○階、地下○階」、既存施設の一部を整備・購入する場合は「○フロア」等と記載してください。

【別添1－2】

本事業により整備する施設全体の規模・機能・経費等

＜各施設の規模・機能等＞

■ 1番目の施設名： ××××コアファシリティ棟

施設内の各整備内容・機能等	研究基盤刷新に対する効果	事業規模			床面積(単位：㎡)
		本予算かどうか	事業名	予算額(単位：百万円)	
		本	本事業		
		本	本事業		
		本	本事業		
		他	○○事業(△△省、□□県)		
		他	△△からの寄付		
		—	本事業計	0	0
		—	総額/延べ床面積		0

■ ２番目の施設名： ××××コアファシリティ棟

施設内の各整備内容・機能等	研究基盤刷新に対する効果	事業規模			床面積(単位：㎡)
		本予算かどうか	事業名	予算額(単位：百万円)	
		本	本事業		
		本	本事業		
		本	本事業		
		他	○○事業(△△省、□□県)		
		他	△△からの寄付		
		―	本事業計	0	0
		―	総額/延べ床面積		0

【留意事項】(提出時には表中の記載例とともに削除してください。)
※必要に応じて行を追加してください。
※本事業以外の資金を活用し、使途が特定されている場合には、外部資金名、支出元及び当該資金で整備する施設の内容が分かるように簡潔に記載してください。
(そのため、本事業以外の資金を活用するものの、使途が特定されていない場合には、当該欄に記載する必要はなく、記載いただいている各項目の予算額の合計と施設全体の予算額の合計が合わないことがあります。)
※研究基盤の刷新に向けた戦略の実現にあたって、各施設内容・機能等が必要であることがわかるように簡潔に記載してください。
※青字部分は自動計算です。

【別添１－３】

本事業により整備する施設全体の規模・機能・経費等

＜各施設の経費＞

■ １番目の施設名： ××××コアファシリティ棟　　単位：百万円

費用名	本事業による費用	本事業以外の金額	総額
不動産購入費			0
調査設計費(監理費含む)			0
建設工事費(附帯設備工事を含む)			0
外構工事費			0
合計	0	0	0

■ ２番目の施設名： ××××コアファシリティ棟　　単位：百万円

費用名	本事業による費用	本事業以外の金額	総額
不動産購入費			0
調査設計費(監理費含む)			0
建設工事費(附帯設備工事を含む)			0
外構工事費			0
合計	0	0	0

【留意事項】(提出時には表中の記載例とともに削除してください。)
※必要に応じて行を追加してください。
※青字部分は自動計算です。